



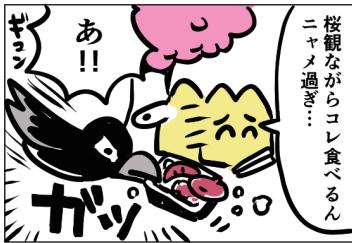
WebSite



X

編集 / 発行

サクラチル... 木場のニヤメチ



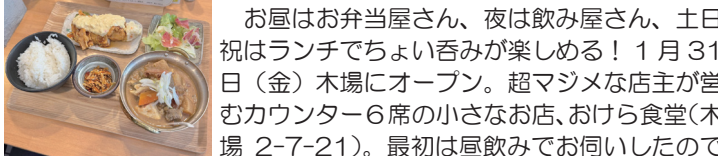
史上最大級&アジア初上陸「ラムセス大王展」



2025年3月8日(土)~9月7日(日)、ラムセス・ミュージアム at CREVIA BASE Tokyo (豊洲 6-24-25) にて、エジプト史上「最も偉大な王」と称されるラムセス大王(ラムセス2世)とその時代にまつわるエジプトの至宝180点を展示する、エジプト政府公認、史上最大級の巡回展「ラムセス大王展 ファラオたちの黄金」が開催予定です。本展は、古代エジプト新王国時代(紀元前1539年~1075年)に由来する180点の貴重な遺物や華麗な黄金の工芸品の実物が、最新のデジタル体験や音響・照明と共に新しいスタイルで展示される体験型展覧会です。展示物には、貴重なラムセス大王の木棺、高価な宝石、荘厳な王のマスク、動物のミイラ、精巧なお守りなど、エジプト国外に出たことのない唯一無二の遺物が含まれています。さらに、ラムセス大王の生涯をVRやプロジェクション・マッピング等の最新技術で再現。ラムセス大王が建設に関わった最も有名な建造物である「アブ・シンベル神殿」とラムセス大王の妻、ネフェルタリの墓を巡るVR体験も。平日:大人4100円 / 中高生3100円 / 小学生2400円、土日祝及び特定日:大人4300円 / 中高生3300円 / 小学生2600円

音響・照明と共に新しいスタイルで展示される体験型展覧会です。展示物には、貴重なラムセス大王の木棺、高価な宝石、荘厳な王のマスク、動物のミイラ、精巧なお守りなど、エジプト国外に出たことのない唯一無二の遺物が含まれています。さらに、ラムセス大王の生涯をVRやプロジェクション・マッピング等の最新技術で再現。ラムセス大王が建設に関わった最も有名な建造物である「アブ・シンベル神殿」とラムセス大王の妻、ネフェルタリの墓を巡るVR体験も。平日:大人4100円 / 中高生3100円 / 小学生2400円、土日祝及び特定日:大人4300円 / 中高生3300円 / 小学生2600円

めっちゃウマ! オススメグルメ!



お昼はお弁当屋さん、夜は飲み屋さん、土日祝はランチでちょい呑みが楽しめる! 1月31日(金)木場にオープン。超マジメな店主が営むカウンター6席の小さなお店、おけら食堂(木場 2-7-21)。最初は昼飲みでお伺いしたのですが、何をオーダーしても丁寧で美味しいお料理が続々出てきて、飲んだハイボールは7杯を超え、隣で定食を食べていたお客さんが「あまりにもおいしい」とご飯をおかわりしているのを目撃し、翌日出直して定食もオーダー。結果、めっちゃウマ。これはオススメしなければ!と、Xでもウェブサイトでも、こちらの紙面でも紹介している次第。次はお弁当を買いに行きます!

百円深川飯

3月2日(日)11:00~14:00、江東区の文化と観光の拠点、深川東京モダン館(門前仲町 1-19-15)にて、今年も東京マラソンの日程に合わせ、「深川めし」(おためしサイズ)を100円で食べることができるイベントが開催予定です。限定300食。売り切れ次第、イベントは終了となります。参加店舗は、深川めし八郎右衛門(牡丹 3-30-1)、深川宿(三好 1-6-7)、株式会社ヤマタネ(越中島 1-2-21)



河津桜@大横川

江東区で「河津桜」と言えば、木場公園の東に隣接する「大横川散歩道」(東陽 5-5-7)が有名です。大横川兩岸500mに約90本の河津桜が植えられており、今年は既に2月頭には開花が始まっていて、さっそく地上波テレビ局が取材に訪れていました。河津桜の蜜はメシロの大好物で、細く尖ったくちばしでせわしなく蜜を吸う姿も、この辺りでは頻繁に見ることができます。ちなみに昨年はちょうど2月28日頃に満開となりました。今年は当紙発行の今日3月1日(土)と明日がベストタイミングかもしれません。河津桜の花期は約一ヶ月と長く、2月から3月にかけてゆっくりと楽しむことができます。



亀戸天神「梅まつり」

【ご注意!!】当紙発行の翌日3月2日(日)が最終日です!今年も亀戸天神社(亀戸 3-6-1)において、2月2日(日)から「梅まつり」が開催されています。境内には約300本を超す紅白の梅が植えられており、早咲きから遅咲きまで、長い期間、梅の花を楽しむことができます。訪れた参拝客からは「藤の季節ではないときは特に、こんなに植えられていたのか!と驚くぐらい大量の梅の花が堪能できる」と驚きながらも、その美しい景色に喜ぶ声が聞かれました。本殿前には、菅原道真公が5歳の時に詠んだといわれる短歌「美しや 紅の色なる梅の花 あこが顔にもつたくそある」の歌碑があり、その横には紅梅と白梅の花が植えられています。



「東京都現代美術館」30周年

1995年に開館した東京都現代美術館(三好 4-1-1)は、今年2025年3月18日(火)に、開館30周年を迎えます。3月18日(火)の「開館記念日」には、各種企画展が無料で観覧可能。同月に各国のキュレーターを招いて国際シンポジウム「これからの現代美術館のかたち」を開催。4月には、パフォーマンスや上映など従来の展示会の枠にとどまらない実験的な「MOT Plus」プロジェクト、8月から来年2026年にかけては、国内外の作家による大型展示を軸に、多彩なイベントを展開する企画展「開館30周年記念展」などを実施。一連の開館30周年記念企画は、2026年3月29日(日)まで続く予定です。

2月後半江東区内にオープンした新店舗

- 1/21 ベーカーリー「GRANDIR有明ガーデン店」(有明 2-1-8-2F)、2/22 インテリアショールーム「topso」(扇橋 1-2-3)、ボードゲームショップ&プレイスペース「天晶堂」(北砂 4-18-14)、2/26 ベーカーリー「パンのイテリオ」(東陽 3-18-7)、2/28 もつ煮とホッピーと自然派ワインのお店「ペケ」(住吉 2-10-5)